

瘠我慢の説

書簡

福沢諭吉

青空文庫

福沢先生の手簡

拝啓 仕候。陳ば過日 瘠我慢之説と題したる草稿一冊を呈し候。或は御一
 読も被成下候哉。其節申上候通り、何れ是は時節を見計、世に公にする
 積に候得共、尚熟考仕候に、書中或は事実の間違は有之間敷哉、又は立
 論之旨に付御意見は有之間敷哉、若しこれあらば無御伏臈被仰聞被下度、小
 生の本心は漫に他を攻撃して楽しむものにあらず、唯多年来心に釈然たらざるもの
 を記して輿論に質し、天下後世の爲めにせんとするまでの事なれば、当局の御本人に於て
 云々の御説もあらば拝承致し度、何卒御漏し奉願候。要用のみ重て
 申上候。勿々頓首。

二月五日

諭吉

……………様

尚以彼の草稿は極秘に致し置、今日に至るまで二、三親友の外へは誰れにも見せず
 申候。是亦乍序申上候。以上。

勝安芳氏の答書

従いにしえより古とうろしや当路者古今一世之人物にあらざれば、衆賢しゅうけんのひひよう之批評に当る者あらず。不はから計ずも拙せつろう老先年之行こうい為に於て御議論数百言御指摘、實に慙愧ざんきに不堪」の注記」ず、御深志忝存候。かたじけなく

行蔵こうぞうは我に存す、毀誉きよは他人の主張、我に与あずからず我に関せずと存候。各人かくじんへ御示し御座候とも毛頭異存無之候。御差越之御草稿は拝受はいじゆいたし度、御許容可ごきようくだ被下候也。さるべくせうろう

二月六日

安芳

福沢先生

拙せつ、此程このほどより所劳しやうろう平臥中、筆を採とるに懶ものうく、乱筆らん蒙御海容度候。

榎本武揚氏の答書

拜復。過日御示被下候貴著瘠我慢中、事實相違之廉並に小生之所見もあら
ば云々との御意致拝承候。昨今別而多忙に付いずれ其中愚見可申述候。先
は不取敢回音如。此に候也。

二月五日

武揚

福沢諭吉様

青空文庫情報

底本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」講談社学術文庫、講談社

1985（昭和60）年3月10日第1刷発行

1998（平成10）年2月20日第10刷発行

底本の親本：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

初出：「明治十年丁丑公論・瘠我慢の説」時事新報社

1901（明治34）年5月2日発行

※副題の「書簡」は、このファイル作成時に付けたものです。

※誤り箇所は底本の親本にて確認しました。

※「福沢先生の手簡」の末尾、「申上候《もうしあげそうろう》。以上。」は、底本の親本では、「申上候也。」となっています。

入力：kazuishi

校正：田中哲郎

2006年11月7日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

瘠我慢の説

書簡

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 福沢諭吉

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>